

クラス番号	903	ゼミタイプ	サービスラーニング型（コミュニティ）
		担当教員名	小藤あけみ
テーマ	武豊町をフィールドとして、提案型協働事業を通して行政と住民の協働を考える		
ゼミナール概要			
目的、内容、方法等：			
目的 フィールドワークの体験を通して住民と行政のお互いの役割について知ることができる。 地域共生社会について知ることができ、求められる行政の役割について考えることができる。			
内容 少子高齢化・環境問題・教育・防災・貧困等地域の課題は多様化しています。社会構造の変化や暮らしの変 化により制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながる地域づくり「地域共生社会」の必要性が言われています。 武豊町では武豊町総合計画（たけとよゆめたろうプラン）の「ともに創るまち」の基本目標の取り組みとして、武豊町提案型協働事業交付金制度があります。この事業は、NPOやボランティア団体、自治区などが地域の課題に対して自ら企画し実施する「公共性のあるまちづくり事業」に対して交付金を交付するものです。この提案型協働事業を継続している団体や行政と住民との協働で行っている活動にグループに分かれて参加します。 地域に暮らしている住民が気付いた地域の課題に対して主体的に関わり取り組んでいくことが地域福祉の推進には必要です。それぞれの団体はどのような課題についてどのような取り組みを行い、何をめざしているのでしょうか。これらの活動を通して、住民と行政のお互いの役割について考え、どのような行政の支援があれば住民主体の活動を継続することができるか考えていきます。			
授業計画：			
前期 武豊町総合計画の読み込みと武豊町提案型協働事業について調べる 各団体の紹介とグループ分けと活動先の決定 夏休み 活動に参加 後期 振り返りと研究グループ分け 活動報告会と一年間のまとめ			
担当教員からのメッセージ			
地域にはたくさんの団体がいろいろな地域課題に対してそれぞれの理念を持って活動しています。 それらの団体の活動に参加することで、住民側の思いと行政側の支援を知ることができます。両方からの視点で行政の役割について考えていきましょう。また学生の立場で何ができるかも考えていただきたいと思います			